

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	127	
項目名		B 除いた共通語
しもやけ 088		C 除いた特殊語 (/)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0724.95	šimojake <えいんて明>	
0737.94	šimojake <色か変わる>	
	šibareru ← { 真冬には šibareru と šibareru } šibareru ← { 感覚が不安(な)な時(と)比 }	
0747.70	šibaraseku ← { šimojake } šimojake <真冬は šibarase ru, to:šo: >	
0779.03	šimojake ← { šibareru } šibareru ← { šimojake } <真冬には šibareru >	
0789.95	šimojake <真冬は jukijake >	
0873.94	šimojake <真冬にこきりあ jukijake >	
0894.61	jukijake <前へ>	
0896.22	いそやけ (イソヤキ) = かがやけ 7 28-32	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	㊤ 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ (2)
	127		
項目名		しもやけ 098	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	<p>チヤラテ 半々かな。]</p> <p><シハレチヤラテ 女に いいますね></p> <p>これは[もとひとの場合、チヤケとチヤ]に</p> <p>なつ、ちヤケの時女は、どういいますか]に</p> <p>持する答へある。</p>	
0990.97	simojake <越中の人junki Jake>	
1699.14	シヤケ 共	エチヤケ
1719.38	シヤケ <シヤケをエチヤケといふ人がある。>	
	<p>雪の川 噴煙が黒くなることもエチヤケといふ</p> <p>(2016/4)</p>	
1738.17	simojake, junkijake, <チヤとチヤ: Kunaru>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は縦密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ページ 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕 (3)
	127	
項目名		
しもやけ 068		

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
1737, 85	siwojake <初冬, 春先> sibareru <真冬>	
1761, 74	シバレ, シバレ. 771+100以前の状態 シヤヤ, シヤヤ. 771+100以前の状態. はれなも <はれなも 2人語シヤヤとい>と 説明しな.	
1762, 10	シヤヤ <シバレ とい 語を補(事もある)>	
1791, 33	シヤヤ (多) シヤヤ (新. カ) (シバレとはいわない. 同じなこともない.)	
1814, 25	シヤヤ <雪が降り始める, 春先も>	シバレタ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ページ ② 除いた共通語 ③ 除いた特殊語 (4)
項目名		
しもやけ 068		

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1816.82	シハレバ (トオシオ=カカニヒ)	
1816.52	シヤケ <秋から夏にあらなヒ>	
1848.24	ju:kijake, simojake (=>は同じと考えらる)	
	<本誌に=あらシヤハ ufijaita, to:jo:ni nattaヒ>	
1859.84	simojake <おとも春冬に、初冬にヒ>	
	sibaremu 真冬にヒ to:jo:ni kakaru [jaitsimatta] (福田辰男ヒ)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記 ページ 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕
項目名		
しもやけ 098		(5)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
1862.48	シモヤケ 2キヤケ	1905年(12年以内、教分給付) 世に。 (冬になりかけの時になる。) (「凍傷」ではない。) 「凍傷」は「シムシヤ」といふ。 「2キヤケ」といふ。厳寒の時になるもの。)
1862.52	シモヤケ 2キヤケ	<シモヤケは冬の初め、雪と179頃になるもの。> <真冬になるもの。> (区別があまりない) (5) 1-22(2.)

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	127	
項目名		[B] 除いた共通語
しもやけ 058		[C] 除いた特殊語 (6)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
1863.48.	シヤヤ < 凍傷はシハレトイフ >	
1867.15	シヤヤ (もとひとハシヤヤトイフ)	シヤヤ
1893.10	Sibarasita < 眞冬ニシバラスイタマタクサリトイフ Sibarasitaトイフ。 >	Simojake
1942.03	Simojake < 11getsu Koro Kara 3getsu Koro made シモヤケトイフトイフ >	
	Sibaneta < 眞冬ニシバネタトイフ シバネタトイフ。 >	
2608.90	シヤヤ < 冬 >	シハレ
2619.28	シヤヤ 昔ハ人ハシヤヤトイフ。	シハレ

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> () () は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ページ
	127	
項目名		(B) 除いた共通語
しもやけ 098		(C) 除いた特殊語 (7)

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
2722.67	シモヤケ (多) ニキヤケ (少)	
	シニハレ (花のよけはたのほれをいふ。)	
2734.05	シモヤケ <凍傷の最初はシニハレをいふが、シニハレ、シニハリ 崩れしほうとシモヤケといふ。 >	
2750.43	シニハレ 今も昔も使う ニキヤケ <新>	
2751.10	シニハレ <中年以上の人ばかりシニハレ> シモヤケ <共> <よけのよけのことば>	
2763.22	jungijage <互>	simojage

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ページ	(8)
	127		
項目名		(B 除いた共通語)	(8)
しもやけ 058		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
2763.28	N.R. (同席+校長 simbare という)	
2765.71	N.R. <シモヤケと云ふ karetae という> (simojake という語があることは知らぬ)	
2773.13	jungijage 足不付語。	simipare
2783.06	simojage (共通語?)	
2790.38	jungijage <新>	simbare
2792.40	simbare <互>	simojake
2793.00	simojake (別に本和語か、或は、その 支那か、否)	
2794.85	simipare <多<使>>	jungijage

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ページ
	127	
項目名		[B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語
しもやけ 068		(9)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
2795.72	名詞か動詞。 <しもやけがこぼれたとは言え、 simihakasitaとは言。>	
2800.52	じまや (凍傷)	こまや
2812.96	jmkijake <冬> simojake <春-秋>	
3619.08	simimiru 名詞の形は「くさくさした」といふ。 動詞も「くさくさした」といふ。	
3639.49	jogijage こまは「こ」となるが、 じまは「じ」となる。	
3649.58	simojage (軽いや)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④普通注記 ページ 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕 (10.)
項目名		
しもやけ 098		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	jūgi jage (重なり)	
3688.82	sūmobate <普通>	sūmoyake
3699.55	シモヤケ, スモヤケ, 2+ヤケ 以外「シモヤケ」が「スモヤケ」という表の 動詞に「シモヤケ」がある「霜張 れた」が化している。シモヤケ動詞に してシモヤケとはいわない。	
3702.81	simbare (程度のひどいからしい。軽いの (1=290が太いより))	
3706.81	simipare <多(使)>	jūgi jage

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記 ページ
	127	
項目名		(B 除いた共通語)
しもやけ 048		(C 除いた特殊語) (11)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3710.91.	jügi'age (フシハタ.)	jügi'bare
3721.37.	simipare (呉)	jügi'age
3725.72.	スシハレ (色ナシ<ゴト>)	スモヤケ
3737.32.	シシハレ <ハハタ>.<オハナシハタ.>	
	シモヤケ <瘡に下、花も。>	
3737.95	シシハレ (「シ」=「ハ」の響きあり。)	
3741.16	simi~bare <呉>	iki'ake
3744.18	シシハレ (瘡<ハハタ>)	
	スシハレ (冬ハハタ)	
	(シハハタ<ハハタ>)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は敬密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ページ 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕 (12)
	127	
項目名		
しもやけ 098		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3756.26	シモヤケ, シモヤケ <手や足に> シシバシ <耳や口に>	
3763.17	シモヤケ <鼻>	シシバシ
3770.62	jūgi jage (前髪と)	simobare
3783.08	Simipare eは狭い。	
3785.42	シモヤケ (皮膚がむけ)	シシバシ
3786.01	シシバシ (B)	シシヤケ, シシバシ
3793.37	シモヤケ (鼻)	シモヤケ
4609.07	simojake <雪の反射による凍けはシモヤケといふ。>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ページ 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕
しもやけ 068		
項目名		(13)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4609.54	šimojage <共>	šimo ^h ba ^h te
4619.63	šimobāre (動詞はシハルル ^h ^h ^h ^h ^h)	
4629.43	šimojage <動>	šimobāre
4637.68	šimojake <凍傷 ^h は ^h シ ^h リ ^h ^h ^h ^h ^h ^h ^h に ^h >	
	jukijake <凍 ^h 傷 ^h >	
4638.43	[jungiage] (2ヶ所 ^h は ^h 入 ^h ら ^h ぬ ^h 様 ^h に ^h あ ^h る ^h)	
4642.69	šimojake <霜 ^h が ^h こ ^h り ^h ^h ^h ^h ^h ^h ^h の ^h 時 ^h >	
	jukijake <雪 ^h が ^h 積 ^h も ^h つ ^h ^h ^h ^h ^h ^h ^h ^h ^h ^h ^h ^h ^h ^h ^h の ^h 時 ^h >	
	(外 ^h に ^h あ ^h る ^h は ^h 数 ^h の ^h 内 ^h に ^h あ ^h る ^h 区 ^h)	
4653.49	jukijake <手 ^h が ^h 凍 ^h り ^h ^h ^h ^h ^h ^h ^h に ^h あ ^h る ^h >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (14)
しもやけ 098		

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	si mo jake. <頬や耳のたへに二つに比ぶる。>	
4654.52	jukigake <〔B〕> <二所の境用い。>	
4658.42	jungiage, si mo jage (2部はたからない。)	
4665.87	si mo jake <〔B. 現〕> <〔B〕から使。現在も用い。>	
	jukijake <〔新〕>	
4666.17	ekijake <〔希〕>	si mo jake
4666.51	si mo jake <〔古〕～現〕> jukijake <〔新〕>	<〔古〕から使。現在も用い。> <意味は二つ>

4667.33. 江折 (冬は江の谷の霧焼け)
二折 (冬は二谷の降る霧焼け)

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	127	
項目名		B 除いた共通語
しもやけ 068		C 除いた特殊語 (15)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4667.55	jungjage <一般> simojage <新>	
4675.45	jinojake <江くはれた> jukigake <すれた>	
4676.37	ju _u k _u jake <すれた> simojake 軽症た。	
4676.42	エチヤ <エチヤは手に多く去る> エチヤ <エチヤは主に足に去る。>	
4676.60	simojake <凍くはれた> jukigake <雪が止ると凍くはれた>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ページ
	127	
項目名		(B 除いた共通語)
しもやけ 058		(C 除いた特殊語) (16)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4676.67	jungijage <しもやけ ^雪 (シムヤケ)>	
4678.77	jukijake, simojake (季節 ^時 ご ^ご ち ^ち か ^か い ^い によ ^よ り ^り よ ^よ ち ^ち か ^か い ^い) 92-933.)	
4677.65	jungijage <降雪 ^降 後 ^後 に ^に え ^え よ ^よ ち ^ち >	simojage
4684.77	simojake < simojake (シモヤケ)> jukijake <(シムヤケ)>	
4685.10.	jukijake. (シムヤケ) (simojake ^雪 後 ^後 に ^に)	
4685.28	simojake <かゆい^かい^い> jukijake <かゆい^かい^い>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
	127		
項目名		[B] 除いた共通語	(17)
しもやけ 098		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4685.72	simojake. < 霜のこり地 ada >	
	jukigake. < 雪のこりからがた。< じかた >	
4686.52	[jukigake] (雪のこりからがた。)	simojake
4689.0/	jukijake. < とろろも雪から使い。今も同じ 根に使うが、とろろといふは jukijakeの方が多し。 >	simojake.
	(最初は互換にjukijakeの方が よく然も多し用いられるもの あり。)	
4688.45	jukijage < 降雪後にみよ >	sumojage
4689.14	simojage, ^d jukijage	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]
	127	
項目名		(18)
しもやけ 098		

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	(季節と厳密な関係はない)	
46 89.62	simojage, jumgijage (=)は11<3の差がある。 jumgijageは22-24を いう。	
46 95.21	simojake 秋から冬が初めにかけ2ヶ月。 jumkijake 雪が降る20日の初めを2ヶ月。	
46 95.33	jumkijake (降雪後)	simojake
46 99.15	jumkiage <降雪後>	
	simojage <霜が降る頃>	
46 99.07	dzukijake <雪<使>>	simojake

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	127	
項目名		B 除いた共通語
しもやけ 098		C 除いた特殊語 (19)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4700.78.	simojake <昔>	
	jūkjijake <今>	
4701.14	jūkjijake <仮>	simojake
4710.55	jūgjake <一般>	sūmojake
4711.41	[sūmojake] <上.共>	[jūgjake]
4711.49.	スモヤケ (稀)	スモヤケ
4725.92	zūkijake <zūkijake 雪害>	
	(雪害略はマサワ[j]とii) 又)	
	(はかりしな[z]であら)	
	(音韻論的には不明)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	127	
項目名		B 除いた共通語
しもやけ 088		C 除いた特殊語 (20)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4730.45	sümojagë <若くは> (エキヤクセいのこいのちりたか。 前にはマカノ音が入る。)	fjüngljagë
4730.96	gukujake	simojake
4731.15	sunKijake	
4731.42	jügi jagë	sümojagë simojagë

2エキヤクセいのちりたか。
 皮膚が破れおかしな音をいう。
 慌て急ぎ足音にもエキヤクセいの
 音が入る。

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()は厳密にする。

頁 回 番 号	地 図 番 号	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (22)
	127		
項 目 名			
しもやけ 098			

順子同

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4687.37.	jwgijake, jimojake (季節による合けを区別し、 然し合けないでも使うなど、 = 語の用法がわかれば合えない)	
4689.86	zükijake [くはな状態のた]	simojake
4724.75	sinojake <上> <軽度のた>	jwgijake
4760.54.	sūmojake (くはなはない。たははなると た。雪が降る前にたはなるとい)	
	yukijake <くはなた>	
4760.64	sūmojake <程度軽いた>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() () は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ B 除いた共通語 C 除いた特殊語
	127	
項目名		(23)
しもやけ 058		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	jūngijage. <程度が低い。>	
4760.98.	zūkjijake 雨はこれほど少ないにひびく。	
4761.57.	simojake <多(使) >	jukijake
4761.93.	jukijake } <普通使 >	
	simojake } <雨の量は土地には同じくらいある。>	
4771.58	simojage <新 >	jūngijage
4771.98.	simojake <普通使 >	jukijake.
4772.33	jukijake <普通使 >	simojake.
4772.48.	jūngijage < 程度が低い。 >	jūngijage
4780.64	simojage <霧の降る時期は同じ。 >	jūngijage

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は密記にする。

質問番号	地図番号	(A) 共通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語
127		
項目名		(24)
しもやけ 068		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	区別有る。	
4781.86.	jungijage <区別使わない>	simojage, simobankure
4782.04	simojage <かゆい程度がた>	
	jungijage <たか-たか<3>はた-たか>	
5538.63	ika ke ほか如キヤクといふが訂正した。	
5555.09	simibare <古>	simbare
5557.42	simbare <耳たぶのた>	ikijake.
5557.85	ikijake <新>	simobare
5564.76	simojake ほか如ク項。	
	jun-kijake <すねた項>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に差べる。
- ▶ 注記の<> () () は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ページ [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語 (25)
	127	
項目名		
しもやけ 058		

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
55 65.12	シハレ. 手が凍ておるといふ。	
55 66.35	NR. <凍れ手が凍むといふ。>	
55 68.92	シハレ <改>	シハレ
55 74.84.	šimojake かゆい。	
	jūkiwake かゆくない。	
55 79.42.	jukijake 雪の降るときのせい。	
55 84.57.	jukijake. 指が凍るといふ。	
55 86.56.	jūkiwake. 凍え。	šimojake.
55 86.70.	šimojake 冬のはしめ(使)。	
55 89.02	シハレ <替>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	127	
項目名		(B 除いた共通語)
しもやけ 068		(C 除いた特殊語) (26)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5591.91	ジキヤケ (五)	シモヤケ
5602.99	jukijake <古> (昔はとうりいしなわの「はたけ」)	simojake
5602.35	simojake <冬のはらけの頃 2語、古い言い方の様。> jukijake <冬に最も寒い頃 2語。>	
5604.28	[simojake] (妻の発言)	
5605.11.	simojake = 昔目じjukijakeと答えるが、 又打消した。	
5606.83	ekiwake <五>	jukiwake
5608.51	jukijake <凍傷に黒く変色した部分>	simojake
5609.26	jukijake <名>	simojake

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 ページ (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語 (27)
	127	
項目名		
しもやけ 068		


地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
56 11. 39	jukijake <本> <子供の時使>た	
56 11. 74	じやけ (新しい)	じやけ
56 11. 81.	jukijake 互い言いつつ今も使う。 simojake と全く同-物を指す。	
56 12. 39	じやけ (上・呉)	じやけ
56 12. 98	jugijage <子> igijage <子>	simojage
56 13. 33	[simojake] (6才の子が発し、被調査者認めず)	
56 13. 48.	simojake (赤くはれはじはる)	
	ekijake (<赤くはれはじはる。)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	127	
項目名		(B 除いた共通語)
しもやけ 098		(C 除いた特殊語) (28)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
56 13.53	simojage <新> 子は ^ク 木にも ^け こえ。 jukijage 	
56 13.80	jungijake <古い言い方がもしない。>	simojake
56 14.62	simojake <昔からこの2,213>	
56 14.68	jokijake <希> <若い時はよく用いむ。>	
56 15.20.	jukijake <古い語で現在も相当用いられ。>	
56 15.28	simojake <雪のない時> <大人がよく使う>	
	[ekijake] <雪がある時>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕 
	127	
項目名		
しもやけ 098		

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	ある。富沢村一部は〔ekijake〕	
56 32.83.	jukijake. (本三巻に「くじけ」と 答ふ。)	simojake
56 33.96.	ekijake. (この地では雪はeki, 葎に egi)	
56 35.48	じやけ <多>	
	じやけ <ナ>	
56 35.65	じやけ (共)	
56 41.99.	jukijake いはじけ。	
56 43.33	ikijake <葎>	simojake

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 ページ [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語 (34)
	127	
項目名		
しもやけ 098		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5644.74	シモヤケ (共)	
5646.39.	シモヤケ (シモヤケになること)	シモヤケ
5655.57.	シモヤケ (共)	〈シモヤケトガ〉
5657.73.	シモヤケ (共)	
5663.68.	juKijake [〈おんたろ〉]	simojake
5664.51	juKijake 〈希. 子〉	simojake
5666.18	シモヤケ (共)	
5682.37.	〈simoyeta〉 (動詞)	simojake.
5685.02.	N.R. [*simojake]	
5700.32.	juKijake 〈使〉=シモヤケ	simojake.

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	127	
項目名		(B 除いた共通語)
しもやけ 068		(C 除いた特殊語) (32)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5712.70	simojake. [あはらこをmena[s]yaki term]	
5781.22	simojage 足口に付たやうにこい。 手口に付たやうにこい。足口に付たやうにこい。	
5781.65	kambari <手口に付たやうにこい。耳に付たやうにこい。simojage 主に使)>	
5791.23	kambare 痛いふけにこい。[しもやけ]の ひびき。	simojake
5792.18	simojake こいふけに付たやうにこい。	
5792.78	simojage <普通>	
	simonage <節>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は敬密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語
127		
項目名		(24)
しもやけ 058		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6277.62	simobare <新しいいはないか>	simojake
6287.71	simobate <はれている時か>	simojake
6357.38	エキヤク <古>	エモヤク
6358.87	エモヤク <エキヤクは色が黒く(茶)と>	
6369.32	エキヤク 古	
6374.68	jumkijake <上>	kanjake
6383.77	ikijake <ju-が本当のさうか>	
6393.26	jumkijake <茶>	kanjake
6395.46	カンヤク <古>	カニヤク
6406.77	ikake (2を押しな(1)産い(な)す(て)) あま	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地区番号	① 普通注記 ② 除いた共通語 ③ 除いた特殊語
127 項目名 しもやけ 068		

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6411.33	エキヤク エキ=雪	
6418.13	エキヤク <黒く(なま)か(か)く(なま)ん.> エキヤク <普通>	
6419.09	エキヤク <古.今>	
6421.82	シキヤク <古>	simojake
6424.35	シキヤク <雪以前霜の頃> エキヤク <雪の頃>	
6427.29	シキヤク 当地方言.	
6428.91	エキヤク <古>	
6429.65	エキヤク <新.古>	エキヤク

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()は設密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]
	127	
項目名		(5) 2冊
しもやけ 098		

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6431.85	シモヤケ シモヤケル、シモヤケタ 等といふ。	
6434.57	シモヤケル シモヤケに凍る こといふ。	シモヤケ
6437.07	シモヤケ < 曇(なる) > } 曇り 雨の表現。 シモヤケ < 凍(なる) >	
6441.71	< 凍(なる) > といふ?	
6446.43	シモヤケル (名詞) シモヤケル (動詞、下一)	
6456.73	Simobukure (名)	Simojake
6458.91	シモヤケ < 千の甲がはく張(は)る > 在時	シモヤケ
6460.10	ikijake 雪は2尺(ふたひ)床(とこ)に(た)る。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ページ [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]
	127	
項目名		(34) ⁶
しもやけ 098		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6466.41	シモアツレ <葉>	シモヤケ
6476.17	シモアツレ <今使われなくからうことば>	
6477.02	シモヤケ <まて十分にはくれあがらず、 もよおして いる 様子 をいう。 >	
	シモアツレ <ひとよくれあがった 状態 をいう。 >	
6481.94	カニハレ (子甲冑をよ=2するもの)	シモヤケ
6484.78	シモアツレ アツ	シモヤケ
6485.14	シモアツレ <古>	
6485.82	シモアツレ <古>	
6487.66	SIMOBUKURERU <シモアツレトルキウ 動詞詞形もあ3>	シモアツレ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 129	① 普通注記	ページ
項目名 しもやけ 068		(B 除いた共通語)	(347)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	(但しシモヤケといふのは ないようである。)	
6494.2/	シモヤケ <五>	
6501.92	シモヤケ 最近い。 ゴキヤケ (五). 50年 ^程 以前には一般的。	
6505.60	jukijake <音>	
6510.65	ゴキヤケ <ヤヤ多>	シモヤケ
6511.33	ゴキヤケ <希>	シモヤケ
6511.85	Sjimijake <ひととない時>	
	jukijake <ひととない時>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (38)
127 項、目名 しもやけ 098			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
65 14. 61	simoyake <多しよた。>	yukiwake
65 16. 15	けんや <古><この場合に限ると雪がこれをけんとい。>	
65 18. 30	けんや <池>	けんや
65 21. 17	けんや けんやのひびくた、な時、足時。	けんや
65 23. 54	yukiwake <稀>	simoyake
65 26. 04	けんや <あま)使)た。>	
	けんや <普通使)う。>	
65 34. 37	yukiwake <新)？>	simoyake
65 34. 41	yukiwake <程度)ひ)ひ)た、た)は)ひ)ひ)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 12)	① 普通注記	ページ
項目名 しもやけ 048		(B 除いた共通語)	(3)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	はれあかり、くすねりしなれ、>	
	simoyake <程度がひどく寒い。>	
6534.85	yukiyaake <稀><雪が止むと降りたからである。>	simoyake
6544.26	yakiyake <多>	simoyake
6545.41	yukiyaake <多>	
6552.46	simobate <「江竹」とは言わぬ。>	
6563.43	simobare <赤くはれぬ時>	
	simojake <ひどく寒くくすねるよりなるとりに使。>	
6564.23	simojake <「江ハレ」の語は無い。>	
6572.29	simobare <「江竹」とは言わぬ。>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は秘密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ページ
	127	
項目名		(B 除いた共通語)
しもやけ 098		(C 除いた特殊語) 40

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6572.55	simojake ①のみ。 simobare [はねるとき]	
6574.06	simojake (「シモハレ」は使われない。)	
6577.71	simojake (「はねるとき」と答えて、あちこちで行く。) N.R.	
6580.66	シモハレ <ふく>と大くはねるときを言う (在来のことば。)	
	シモヤ <なにか(な)はねるときを言う> (失通語的)	
6581.52	シモヤ <シモハレという人がある。>	
6583.19	simojake (「シモハレ」は用いないこと。)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ② 除いた共通語 ③ 除いた特殊語	ページ (4)
	127		
項目名			
しもやけ 098			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6590.87	注ハシ <一箇にはれあがるもやえい。> 注ヤケ <とにか一部かかなく、た、色か、かわ、なりするもやえい。> (共) (区別をしない人多し。)	
6618.51	simojake <[simojake] といふのは、1=2-筋も、2=手1=2-筋もは[mizumuji]>	
6655.38	simobare しもやけの及とやけの及より、2筋、2筋、simojake といふ	
6701.46	simojake (kは半音節。)	
7208.97	simobare (腹水2筋の場合)	simojake

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記 ページ (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)
	127	
項目名		(42)
しもやけ onk		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7238.40	simobare <希>	simojake
7238.82	simobare <希>	simojake
7248.15	simojake <多(1)>	simobare
7249.95	シモハイ <希>	シモハル
7258.64	シモハル (B)	
7258.82	simojake <多(1)>	simobare
7259.98	simobare 	simojake
7269.96	simobare 	simojake
7316.65	kambare <シモヤケとは言わない。>	
	<この島 霜が少ない。>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並ぶ。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ (A)
	127	
項目名		(B 除いた共通語)
しもやけ 068		(C 除いた特殊語) (48)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7329.57	ju ^h kijake, simojake (まひ ^h 方 ^h ちか ^h いは ^h 別 ^h りに ^h く ^h れ ^h か ^h と ^h 判 ^h 別 ^h 時期によるも ^h 2 ^h は ^h な ^h い ^h ら ^h し ^h 。	
7343.76	simojake <古>	simobare
7351.68	gibi シエヤ ^h と ^h 比 ^h と ^h は ^h ち ^h か ^h か ^h — と ^h 打 ^h て ^h ら ^h 。	
7354.23	シエヤ ^h <シエハ ^h と ^h は ^h な ^h い ^h ら ^h し ^h 。>	
7357.69	simojake <穴 ^h が ^h 木 ^h が ^h ル ^h は ^h と ^h — ^h ひ ^h と ^h い ^h が ^h を ^h い ^h う>	simobare
7362.67	シエハ ^h <希><古>	シエヤ ^h
7364.34	シエヤ ^h , シエハ ^h <とも ^h に ^h 新 ^h 古 ^h な ^h し>	
7366.91	simonije imonijuru と ^h う ^h 動 ^h 詞 ^h も ^h あ ^h る。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ そのうちの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (44)
	127		
項目名			
しもやけ 068			

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7367.49	simobare <古>	simojake
7368.32	simobare <希>	simojake
7373.56	シモハレ (傍)	シモヤケ
7373.59	シモヤケ <本邦古くからこの名>	
	シモハレ <特に寺田にはシモヤケに いう語がある>	
7374.15	シモヤケ <シモハレとは異なる。>	
7375.37	simojake <希>	simobare
7381.38	シモヤケ, シモハレ <シモヤケが新しい。古いのはシモヤケ>	
7382.01	simojake <希>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ B 除いた共通語 C 除いた特殊語
	127	
項目名		(4) 5
しもやけ 068		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	simobare <古>	
7383.83	シモバル <古<からう>	シモヤケ
7383.98	シモバル <古<からう>。希<ではない。>	シモヤケ
7385.84	simojake (se ₁ =, 三人とも揃い ₂ み ₃ な ₄ か: (simobare とは言わないと ₁ う。 事実 simobare の語は ₁ 厚し ₂ な ₃ い ₄ ま ₅ う と ₆ ある。)	
7386.55	simobare <腫れ ₁ ている場合>	simojake
7386.56	simobare <腫れ ₁ る場合>	
	simojake (と ₁ ち ₂ ら ₃ も ₄ 使 ₅ う。意 ₆ 味 ₇ が ₈ 違 ₉ う ₁₀ よう ₁₁ と ₁₂ ある。)	
7392.45	シモバル <は ₁ れ ₂ 花 ₃ と ₄ う ₅ と ₆ が ₇ 多 ₈ う>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語
	127	
項目名		(4) 6
しもやけ 098		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7403.2/	<p>simojake < 11. 12月ころにできものをいう。 ></p> <p>jukijake . 1. 2月ころにできものをいう。</p> <p>jukijake 2-腹はこぶを hibi ga kire toru いう。</p> <p>手や足指などにこぶができていう。 a Kagire という。 足や指にできものをいふ。</p>	
7403.86	<p>jukijake (凍傷のひびく < kama ga nukete tadareru > とはいう。)</p>	simojake
7410.57	<p>jukijake < ひびくはく < 赤んぼ (こぶ) いう。 ></p>	simojake
7411.27	<p>jukijake 互</p>	
7420.18.	<p>simojake < 軽症のひびく ></p>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 ページ (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語 (407)
	127	
項目名		
しもやけ 06R		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	jukijake <重症でなく重症をいう。>	
7424.67	simobare <E>	simojake
7427.90	simobare <E>	simojake
7430.15	jukijake, simojake (別紙. 重症時期にはないが 変遷の区別はない。)	
7431.08	jukijake <雪が降りた)にはなく、 の区別。>	simojake
7431.13	simojake, jukijake (同じ区別あり。雪が降りた)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (48)
	127	
項目名		
しもやけ 068		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	たのじjunkijake (ある、と)) わけもない、とのこと。	
7442.37	simobare <古>	simojake
7500.66	シモヤケ (シモハレともいふ。)	
7501.14	シモハレ <ヤイ>	シモヤケ
7501.72	シモハレ <ヤイ>	シモヤケ
7502.91	シモハレ <新>	シモヤケ
7503.11	simobare <赤くはれたもの>	
	simojake <総称>	
7510.18	シモヤケ <多(便)>	シモハレ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	<input checked="" type="checkbox"/> 普通注記 ページ <input type="checkbox"/> (B 除いた共通語) <input type="checkbox"/> (C 除いた特殊語)
127 項目名 しもやけ 068		

ページ
(48)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7511.66	シモヤ <small>< 多<用い3.></small>	シモバル
7512.43	シモバル <small>< 5></small>	シモヤ
7523.05	シモバル <small>< 手一面は2<7>と 入れ上るの意い3.></small>	
	シモヤ <small>< 手の一部合の意7に用い3.></small>	
7659.40	N.R. <small>しもやけにたらない。</small>	
7659.53	N.R. <small>< ならない></small>	
8239.31	šimojage <small>< 新></small>	šimobare
8300.80	シモバル <small>< 知24と122-7243と9E43.></small>	シモバル
8302.55	シモバル <small>< 希> < 中> 古></small>	シモヤ
8305.76	šimobare <small>多</small>	šimojake

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語
127 項目名 しもやけ ORR		

ページ
50
#9

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
8310.26	simobare <ㇿ>	simojake
8310.87	simobare <ㇿ>	simojake
8312.33	simobare <ㇿ>	
8332.42	simobare [ㇿ]	simojake
8335.05	simobare <多> <此頃 2.1.2 (使) と思ふ。>	
8352.40	simobae (ei ja je = あらた)	
8373.43	simobare <手なと->	
	simojake <手なと->	
8393.67	simojake (-ke a k は 軽 (備))	
9303.88	simobare <希>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (54)
	127		
項目名			
しもやけ 098			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0228.86	N.R. <実物なし>	
0237.77	N.R. <実際に体験しない>	
0238.55	N.R. <実物を見ない>	
0246.97	simojake <靴>	
0247.56	simojake <希> (カシマカシキカカカカ.)	
0248.00	N.R. <実物が見ない>	
0249.17	kammaki <強いこいこい>	
0256.76	N.R. <実際にない>	
0256.89	N.R. <凍傷実際になし>	
0257.12	simojak <こやけは全然しらない>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ページ [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]
	129	
項目名		(58) 2
しもやけ		068

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0257.43	N.R. <事実がない>	
0265.96	— <くうじ)とかなう>	
0275.97	— <事実がない>	
0276.50	— <くうじ)とかなう>	
0294.66	くうじ)とかなう	
0294.93	— ない	
0340.00	simufari <帝> kammaki (寒マツ義)	
1213.26	— ない	
1231.88	こくまにしもやけになることか	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	127	(B) 除いた共通語	(/)
項目名		(C) 除いた特殊語	
しもやけ 068			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0894.61	simojake <今> <真冬は si [~] bareta>	
2750.44	シモヤケ <新>	シモヤケ
4654.52	simojake <新> -- <大人には使わないが、こどもは>	jukigake <古> <子供が使う味>
4678.71	simojake [新]	jukijake
4694.81	シモヤケ (シモヤケも古い言い方。現在もシモヤケも同じ意味で使われるが、新しいシモヤケもある。) (例に改定、古い言い方もある。) ようじもある。	シモヤケ
4695.89.	simojake <新>	jukimake

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	127	(B) 除いた共通語	
項目名		(X) 除いた特殊語	(2)
しもやけ 068			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	<昔から用い、今も多<用い3>	
4703.18.	simojake <新>	jmki'jake
4734.20	simojake <新>	j'zmgijake
5508.19	simojake <新>	ikijake
5565.12.	シモヤケ <新>	
	<此かまにあり> (?)	シハレ. 知かまにあり
5565.55	simojake <新>	simbare.
5566.95	シモヤケ <新>	イヤケ
5567.46.	シモヤケ <共>	シシバク
5579.10.	シモヤケ <共>	シシハレ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	127	(B) 除いた共通語	(3)
項目名		[C] 除いた特殊語	
しもやけ 098			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5584.57.	simojake. <千甲など。他人行儀のこぼ>	jukijake. 千甲など
5585.09.	simojake. <ヤ>ト>	jukijake.
5588.02	シモヤケ <共>	シモヤケ <共>
56 11. 39	simojake <新>	jukijake } <古>
56 11. 81	simojake <新> jukijake と全く同一	<古の略使>
56 14. 68	simojake <新> <今はこれと区用い>	jokijake <古>
		<古の略使<用い>
56 15. 20.	simojake <新>	jukijake
		<古の略使<用い>
		相当用い<用い>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	127	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(4)
しもやけ	058		

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
5633.81	simojake <共>	jukijake
5642.31	simojake <共>	jukijake
5642.67	simojake <新>	jukijake
6369.32	シモヤケ 新	ユキヤケ 古
6407.43	シモヤケ <希>	ユキヤケ
6414.17	simojake <新>	jukijake
6417.09	シモヤケ <今>	ユキヤケ <B・今>
6428.91	シモヤケ <新>	ユキヤケ
6469.19	シモヤケ <新共>	シモハシ
6476.17	シモヤケ <新>	シモツシ <今も使われる(2019年) ニハシ>

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	127	(B) 除いた共通語	(5)
項目名		〔C〕 除いた特殊語	
しもやけ 098			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6476.92	シモヤケ <新>	シモツケ
6485.14	シモヤケ <新>	シモツケ <古>
6485.82	シモヤケ <新>	シモツケ <古>
6494.2/	シモヤケ <新>	シモツケ <古>
6505.60	simoyake <今>	jukiyake <昔>
6507.72	シモヤケ <現在. 共>	
	<昔は(名詞)ツケ(名)なかつた。つか シモ. 手モ シバウカシと云つた。>	
6524.0/	simoyake <新> <終戦後いよいよなつた。>	yuki yake
6524.66	simoyake <新>	yuki yake

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中ででの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号 127	A 普通注記 ページ
項目名 しもやけ 098		(B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語 (6)

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
6545.41	simoyake <新>	yukiwake <五>
6580.06	シモヤケ <共>	シモハル
6582.73	シモヤケ <共>	シモハル
6590.35	シモヤケ <共>	シモハル
7218.58	simojake <(((シモヤケ)))>	simobare
7238.90	シモヤケ	シモハル
7258.64	シモヤケ (新)	シモハル (B)
7266.09	simojake <新>	simobare
7268.87	simojake <共>	simobare
7329.39	simojake <希>	jukiwake

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	127	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(7)
しもやけ		068	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7340.24	シモヤケ <新>	シモハレ
7352.97	シモヤケ <共>	シモハレ
7361.17	シモヤケ <希>	<〔シモハレ〕>
7363.85	シモヤケ <共><上>	シモハレ
7373.92	シモヤケ <也><希>	シモハレ
	┌───────────<何れも出るか?>──────────┐	
7390.26	シモヤケ <新>	シモハレ
7391.84	シモヤケ <希>	シモハレ
7392.33	シモヤケ <新>	シモハレ
7393.62	シモヤケ <新>	シモハレ

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	127	(B) 除いた共通語	(8)
項目名		[C] 除いた特殊語	
しもやけ 098			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7400.15	simojake <新しい言い方である。>	jukijake
7411.27	simojake 新	jukijake 新
7465.47	simojake <共> └───────────> <使用率ほぼ普通> ───────────┘	simobare
	↓ mix	
7424.60	simojake <若い人らに>	simobare
7500.24	シモヤケ <共>	シモハレ
7513.69	シモヤケ <共>	シモハレ
7521.16	シモヤケ <共>	シモハレ
7521.77	シモヤケ <共>	シモハレ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	127	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(9)
しもやけ 098			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7522.48	シモヤケ <共>	シモハレ
7522.94	シモヤケ <共>	シモハレ
7523.30	シモヤケ <共>	シモハレ
8302.19	シモヤケ <新>	シモハレ
8312.33	simojake <新>	simobare.
8316.20	simojake <共>	simobare
8320.98	simojake <上品>	simobare
8324.26	simojake <共>	simobare
8325.03	simojake <新>	simobare
8331.12	simojake <新>	simobare

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 127	A 普通注記 ページ
項目名 しもやけ 098		(B) 除いた共通語 (10) 〔C〕 除いた特殊語

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
8335.05	simojake <新>	simobare <多> < シモヤケ の 多(使)と異。 >
8373.08	simojake <新>	simobare
9303.88	simojake <新>	simobare <希>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	127	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	(/)
しもやけ 098			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
1786.13	アカシ <シヤヤアアハロ>	シヤヤ
1814.25	トオシオ <真冬>	
1816.52	トオシオ <真冬 - 月 = 月>	
	(トオシオ = カルニトを <u>シバレル</u> とい)	
1854.24	to:jo: <冬>	Simojake, Sibareta
	Ko:ta Kasu.	
	jaketa	
	jarareta	
	koitta	
2803.22	トオシオ 真冬	シヤヤ

真冬にいう。

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の<> () ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	127	(B 除いた共通語)	
項目名		(C) 除いた特殊語	(2)
しもやけ	068		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
37 45.62	ト-ヨ- = トヨ.	ヌリハル
47 13.02	sämojake <新>	jügi jage
55 86.70	to:so: 冬に使いかける。	šimojake 冬に使いかける。
47 42.37	[jzmgijage] 町。	:
56 45.89	トオシオ	シエツ
56 52.06	šimojake <共>	jukijake
56 81.41	to:so: <最近>	šimojake.
64 27.27	to:so: (多く用いる)	jukijake 雪の町
64 49.84	トオシオ <共>	シエツ
65 11.49	シラ	

